

ネタバレが苦手な人向けの ストーリー中のシーン検索システム2

ネタバレをある程度防ぎつつシーン、既読未読判定が一層進化

ストーリー型のコンテンツ（映画、アニメ、漫画、小説など）のシーンの重要度と希少度を用いて、ストーリー中のシーン系列に対し表示・非表示処理を行った上でストーリーを可視化し、ストーリー中のシーン検索を行うシステムを開発しました。これを用いることで、重要なシーンを非表示にできるため、ネタバレが起こりにくくすることを実現しました（図1）。また、希少なシーンを表示できるので、目的とするシーンの検索や、コンテンツの既読と未読の判定も可能です。

新規性・優位性

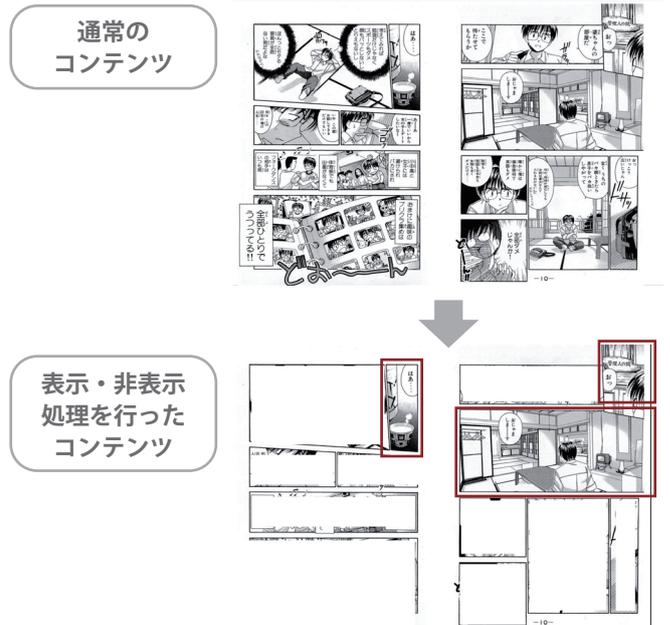
既存システムでは「ネタバレを完全に防ぐこと」「既読未読判定の支援」に不足点がありましたが、本発明ではこの2点を一定程度解決しました。

既存の可視化インターフェースを利用すれば、構成するオブジェクトを抽出し、出現頻度を積み重ね棒グラフで可視化が可能です。オブジェクト（キャラクターの名前や地名、キャラクターたちが使うアイテムの名前など）の出現変動（右記QRコード）を可視化することによって、大まかなストーリーを見ることができ（図2）。

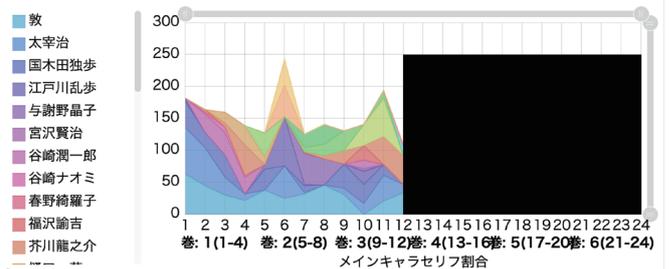


応用・活用例

コンテンツを楽しむ前にネタバレを受けると、コンテンツを満足に楽しめないことが知られています。また、ネタバレについては事前情報を得られるということに肯定的な人もいれば、知りたくないことを知ってしまうからと否定的な人もおり、ネタバレを受ける・受けないをコントロールできることが求められています。本技術を用いることで、肯定的な人、否定的な人の両者の要望を満たすことが可能です。



（図1）シーンの重要度と希少度を用いた可視化
重要度の高いシーンを非表示にし、希少度の高いシーンを表示が可能。
非表示後の3つのコマが記憶にあれば既読と判定でき、
記憶になければ未読と判定できる。
ラブひな©赤松健 Manga109より



（図2）既存の可視化インターフェースを使っでのシーン検索
漫画のシーン検索（初登場、活躍、大きな出来事）が可能。
右下黒四角はネタバレ部分。

特許 特願2022-114675（出願中）、特開2021-163292

論文 西原陽子, Kaifeng Lei, 山西良典, 登場人物の出現頻度情報を用いた漫画内容検索支援インターフェース, 知能と情報, Vol.34, No.3, pp.612-618 (2022)



西原陽子 情報理工学部 情報理工学科 教授 / 山西良典 関西大学 総合情報学部 准教授

専門分野：ヒューマンコンピュータインタラクション、自然言語処理
研究テーマ：コミック工学、食メディア工学、会話分析、レビュー分析

お問い合わせ：立命館大学 研究部 BKC リサーチオフィス TEL：077-561-2802 TEL：077-561-2811 Mail：liaisonb@st.ritsumei.ac.jp